



中城村

もっと知ろう みんなの議会

議会だより

題字: 中城中学校3年 與座 恵真
りょうま



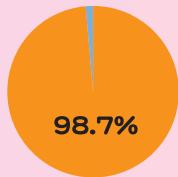
中城村マスコットキャラクター

vol.57



サガリバナ (さわふじ)

ペリーの旗立岩にて: 11月11日 (日) 護佐丸ウォーキング



執行率 98.7%

一般会計歳入：80億2,098万5,793円 差引残額：1億0,274万9,796円

決算額：79億1,823万5,997円

特別会計総額：48億7,133万3,486円



認定第1号



認定第2号



認定第4号



認定第6号



認定第3号



認定第5号



認定第7号

国民健康保険特別会計 (国保の診療に使ったお金)

歳入：30億2,723万0,803円

歳出：28億9,797万2,461円

差引：1億2,925万8,342円

後期高齢者医療特別会計 (高齢者の医療に使ったお金)

歳入：1億4,042万2,827円

歳出：1億3,865万4,874円

差引：176万7,953円

公共下水道事業特別会計 (生活排水を適切に流すために使ったお金)

歳入：3億1,816万5,675円

歳出：3億1,411万3,436円

差引：405万2,239円

土地区画整理事業特別会計 (地域をより住みやすくするために使ったお金)

歳入：8億0,982万3,302円

歳出：6億2,497万6,443円

差引：1億8,484万6,859円

汚水処理施設管理事業特別会計 (地域の生活排水処理に使ったお金)

歳入：316万0,833円

歳出：234万1,425円

差引：81万9,408円

水道事業会計 (村民に安全な水を提供するために使ったお金)

収益的収入：5億2,103万0,046円

収益的支出：4億6,529万7,342円

資本的収入：5,150万

資本的支出：1億2,998万0,667円

予算の使い道、議会が厳しく審査しました。

平成30年第6回定例会決算審査報告

一般会計

①今後、多様化する住民ニーズに的確に対応できる職員配置や職員定数の適正化、職員の資質向上に努める必要があるとされており、速やかに対策及び計画を策定すること。

学校給食調理場

②中城南小学校の児童数の増加に伴い、食数も大幅に増加しており、安定的な運営、及び安全な給食を提供するために、専従所長の配置と職員の負担を軽減するために人員配置の拡充を求める。

生涯学習課

③社会教育指導主事の配置は法令上定められているが、ここ数年間不在になっており配置を指摘されている。よって、早期の配置と資格保持者の育成を図るよう再度求める。

国民健康保険特別会計

①平成30年度より、国民健康保険の制度が改正され、運営主体が市町村から都道府県へ移行され広域化されたが、県より今後、平成36度面向けて、国保税率の統一化が予定されており、中城村の国保加入者の国保税率改正による急激な税負担が懸念されます。よって、国保税率改正の抑制を図るために、国保税の収納率アップ、及び健康予防事業の充実を図るよう求める。

公共下水道事業特別会計

①公共下水道事業に関しては、南上原地区の接続が平成24年度より可能となり、工事の整備も進めてきており、また、平成25年度より接続補助制度を導入することに伴って、接続率が現在49.08%と大幅に伸びたことを評価するが、更なる接続率向上に努めること。

土地区画整理事業特別会計

①南上原地区の土地区画整理事業の早期完了を目指すこと。
②南上原地区土地区画整理事業での、換地処分業務も計画的に行うこと。

汚水処理施設管理事業特別会計

①汚水処理施設は築造後、約30年近く経過しており、施設整備に係る維持管理、施設の改築に適切に対応していくこと。

水道事業会計

①施設管理に対する中長期計画を実施し、配水池を計画的に取り組むことを指摘する。
②老朽施設の早期改善と漏水量減に取り組み、事業計画に基づいてすすめること。

平成29年度決算認定

平成30年第6回中城村議会定例会
(平成30年9月28日～10月23日)

第6回定例会に上程された 議案、同意、報告、陳情、意見書



議案第36号

中城村島にんじんの日を定める条例
(12月12日)



議案第38号

中城村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例



議案第40号

中城村都市公園条例の一部を改正する条例



議案第42号

平成30年度中城村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億3,245万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ23億8,694万3千円と定める。



議案第44号

平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ59万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億7,250万5千円と定める。



議案第46号

平成30年度中城村汚水処理施設管理事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ370万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ621万6千円と定める。



議案第48号

村道若南線道路整備工事(第4工区)請負契約
契約金額：5,320万6,200円
契約の相手方：(株)新栄組



議案第50号

中城村役場新庁舎建設工事(建設工事)請負契約
契約金額：8億3,786万4千円
契約の相手方：(株)太名嘉組、(株)富士建設特定建設工事共同企業体



議案第52号

中城村役場新庁舎建設工事(機械設備工事)請負契約
契約金額：2億5,650万円
契約の相手方：(株)沖縄水質改良、(株)全沖産業特定建設工事共同企業体



諮問第3号

人権擁護委員の推薦につき
意見を求める：比嘉秀子氏



報告第6号

平成29年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告



報告第8号

平成29年度決算に係る資金不足比率
(中城村公共下水道事業特別会計)



報告第10号

平成29年度決算に係る資金不足比率
(中城村水道事業会計)



陳情第2号

地元産品奨励及び
地元企業優先使用



陳情第3号

県産品優先使用



陳情第5号

こども医療費助成制度
の拡充を求める陳情書



意見書第3号

すべての沖縄の子どもたちの笑顔のために
こども医療費助成制度の拡充を求める意見書



発議第4号

閉会中の所管
事務調査



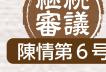
発議第5号

閉会中の議員派遣



陳情第4号

臓器移植の環境整備を求める
意見書の採択を求める陳情



陳情第6号

臓器移植の環境整備を求める
意見書の採択を求める陳情

第5回臨時会 平成30年8月24日



議員定数・報酬等調査
特別委員会報告



議会基本条例調査
特別委員会報告



発議第3号

中城村議会基本条例

提案理由：この条例は、中城村の議事機関である議会の役割を明らかにし、議会運営の基本事項を定めることにより、議会及び議員の活動の活性化、充実を図り、もって活力ある地域づくりと村民の福祉向上に資することを目的とし、本条例を提案する。

第7回臨時会 平成30年11月30日



議案第54号

中城村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例



議案第55号

中城村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例



議案第56号

中城村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例



議案第57号

平成30年度中城村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ631万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ86億8,802万円とする。



議案第58号

平成30年度中城村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億7,254万1千円とする。



意見書第4号

F A - 18 戦闘攻撃機の墜落事故に対する意見書



決議第7号

F A - 18 戦闘攻撃機の墜落事故に対する抗議決議

議長
新垣 博正副議長
新垣 善功

◆◆ 新議長就任あいさつ ◆◆

～二元代表制の一翼を担う議会へ～

このたび議員改選後、不肖、私が議員各位の指名推薦を得て当選人となりました。限りない光栄と存じます。その責任の重さをひしひしと感じているところであります。10月1日施行の「議会基本条例」の前文に議会は、村民主権を基礎とし、村民の信託を受けて活動する村民の代表機関であり、議事機関である。議会は執行機関である村長と緊張関係の下で二元代表制の一翼を担い、村民の代表として、多様な意見をくみ取りながら自由闊達な討議を重ね、最良の意思を決定するとあります。その役割を果たすためにも個々の議員力向上が近年求められております。議長の職務は、議場の秩序を維持し議事を整理及び議会事務を統括、そして議会代表権が規定されており、これらを円滑に運営し村政発展のため村民に開かれた議会を目指してまいります。

総務常任委員会

委員長
石原 昌雄副委員長
外間 博則委員
金城 章委員
安里 清市委員
屋良 照枝

建設常任委員会

委員長
仲松 正敏副委員長
桃原 清委員
新垣 善功委員
伊佐 則勝委員
新垣 修

文教社会常任委員会

委員長
大城 常良副委員長
比嘉 麻乃委員
安里 ヨシ子委員
新垣 貞則委員
渡嘉敷 真整

**地域のためにがんばります！
中城村議会の新しい顔ぶれ**

村政を問う

一般質問

平成30年9月定例議会

※質問者が会議録から要約した
原稿を掲載しています。

大城 常良	7
①教育環境の充実 ②待機児童ゼロへの取組 ③新庁舎建設 ④農業の活性化	
比嘉 麻乃	7
①学校環境 ②新庁舎に「子ども課」設置を ③上地域の中学校建設	
石原 昌雄	8
①教育・子育て支援 ②高齢者福祉 ③県政との繋がり	
新垣 修	8
①今回の議員選挙に伴う取組 ②選挙事務説明会の交付資料 ③開票事務	
伊佐 則勝	9
①観光振興 ②障がい者雇用	
安里 清市	9
①村道整備計画 ②自治会活動の活性化 ③地域防災計画	
桃原 清	10
①橋梁の維持管理 ②道路の維持管理	
屋良 照枝	10
①国道329号の下地区の避難経路 ②生きがいづくり	
安里 ヨシ子	11
①河川と農道の整備 ②プラスチックゴミの汚染	
渡嘉敷 真整	11
①登又城跡線 ②安全・安心・住みよい地域づくり ③中央公民館（吉の浦会館） ④中城小、津覇小学校の音楽教育 ⑤中城南小学校の現状	
新垣 善功	12
①村議会議員選挙の投票率向上 ②職員の不祥事再発防止策 ③中城村職員採用	
金城 章	12
①新庁舎建設 ②教育振興 ③施設整備 ④農業振興	
外間 博則	13
①村道、農道整備 ②避難道側溝の整備	
新垣 貞則	13
①久場地区の住みみたい町づくりを図る ②老人福祉センターの建設 ③吉の浦公園を整備して「結の村」を創る	

《質問順》

一般質問 平成30年9月 定例議会

教育総務課長 使用料の減額は可能であると考えております。今後、見直しに向けて調査を行いたい。

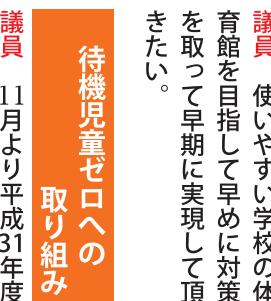


大城 常良 議員

教育環境の充実

議員 各小学校、中学校の体育館の利用は条例によって運営しているが、村民の健康増進、スポーツ振興、人材育成の面からも、高額である使用料の軽減を行うべきではないか。また学校の耐震化については本村でも未耐震の建物が2棟あるが、改善に向けて協議は行われているか。さらにブロック塀の危険箇所、倒壊の恐れがあるものはないか。

教育長 夜間の体育館の開放は今後も続けていきたい。生涯スポーツに親しみ心身ともに健康な生活を送ることは重要である。また、学校の安全面は最優先であり耐震化も大きな課題である。さらにブロック塀の状況を確認し、指導主事2人が対応しています。

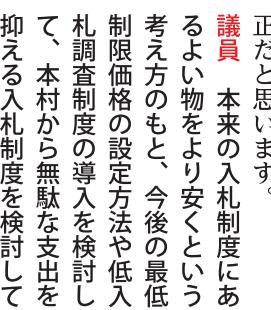


待機児童ゼロへの取り組み

待機児童ゼロへの取り組み

議員 11月より平成31年度の入園申し込みが始まるが、建築中の認可保育園、小規模保育所等の進捗状況はどうか。

村長 一定のめどが立ったようで、いよいよ待機児童ゼロへ向けて第一歩が踏み出せた。しっかり取り組んでいきたい。



農業の活性化

議員 農業者と農業委員会との第1回意見交換会が開催され、担い手（新規就農者）の補助事業の周知方法と農業青年クラブから予算補助の強い要望が出されたがどうか。

福祉課長 平成31年度4月1日の受け入れ枠が1,496人に對し、来年度見込みが1,308人であり、待機児童の解消になると思っています。

農林水産課長

周知方法は村のホームページや県のホームページに掲載してあります。

農業青年クラブは結成2年目で実績が浅く今後、活発な活動を期待し必要に応じて検討したい。

新庁舎建設

議員 新庁舎建設工事に係る4件の指名競争入札が行われたが、その中で落札率の高止まりを非常に危惧しているが最低制限価格は妥当か。

副村長 下請けへの影響、社会情勢の問題等を考えて設計書を作っていく中で適切な判断を下すことを願っています。



学校環境

議員 平成30年6月の大阪北部地震によるブロック塀の倒壊で児童が亡くなられました。同じ悲しみが起きないために村内の学校にあるブロック塀を撤去し、フェンスにする考えはないか。

教育総務課長 上部の皮の取り替えか新品購入かを検討していきます。

教育総務課長

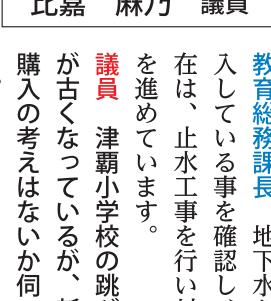
登下校の重い荷物で児童生徒の身体に異変を来たし、腰痛や頭痛の原因になつていて。登下校の荷物を軽くするために、宿題で使わない教科書などを学校に置いて帰る「置き勉」について、村教育委員会の考え方を伺います。

教育総務課長 劣化が進んでいる箇所は補修等で対応しています。フェンスの設置は現在、対応を検討しているところです。

農林水産課長

周知方法は、まだまだ農業者に伝わっておらず検討の余地がある。農業青年クラブは次代を担う若者たちであり、今後、本村の農業発展のためにも十分な支援体制を作つて頂きたい。

議員 津霸小学校のクラブハウスの床から水漏れが発生しますが原因と対策を伺います。



比嘉 麻乃 議員

教育総務課長

議員 地下水が侵入している事を確認し、現在は、止水工事を行い対策を進めています。

総務課長 現在、福祉課、健康保険課、教育委員会などにおいて、子ども課設置を行つており、手続き等の可能性は非常に高いと考えております。

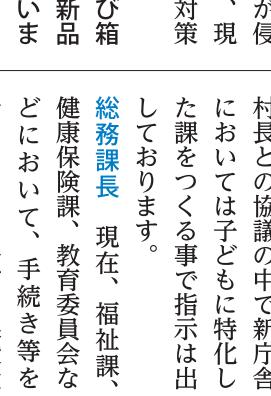
総務課長

上地区の児童数も増え続けていることから、上地域にも中学校は必要だと考えられるが建設予定はあるか伺います。

教育長

今段階では計画はないが、将来的に生徒数が増えた時には検討を進めていくふうに考えています。

議員 新庁舎の基本設計に「子ども課」設置はあるか伺います。



上地域に中学校建設

議員 上地区の児童数も増え続けていることから、上地域にも中学校は必要だと考えられるが建設予定はあるか伺います。

教育長 今段階では計画はないが、将来的に生徒数が増えた時には検討を進めていくふうに考えています。

教育長

上地区の児童生徒の身体の健やかな発達に影響が起きていないよう、各学校へ配慮を講じるよう通知しております。

教育総務課長

新庁舎に「子ども課」設置を

議員 新庁舎の基本設計に「子ども課」設置はあるか伺います。



石原 昌雄 議員

教育・子育て支援

議員 義務教育までの切れ目のない支援が求められ、たくさんの課題があり質問をします。①村内教育現場の2カ所の耐震性について今後の対策は。②通学バスの無料化はできないか。③学童クラブの待機児童対策は。④認定保育園の保育士の確保や待遇改善はどのようになっているか。

議員 高齢化率が増え続ける中で、高齢者の居場所の確保や活動の支援について伺います。①ふれあい事業が社会福祉協議会に委託となっているが経過はどうか。②団塊の世代が70歳以上になっているが、新たな高齢者福祉はあるか。③一番身近にある字公民館での連携は、道路関連も含めたすべての面において要望なども一緒に行っておりました。特にハード部分、道路、土地利用の見直し、企業誘致も含めて一緒に連携させていただき、いい結果がえられるものと期待しています。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。この為に村益にかなうように要望していきたいと思っています。

議員 選挙において開票は候補者並びに支援者及び地元の出向研修はどうか。②県道29号線や35号線の課題について話し合っているか。③職員の県への出向研修はどうか。

議員 開票事務作業と今後の取り組み

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

議員 全体事務終了これは吉の浦会館の閉館時間を指標とするが、午前1時頃と聞いています。近隣市町村(宜

の意向を聞き取ったうえで検討となります。

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

は運営補助を初め、正規雇用化促進事業などの財政的助成を実施し、各法人の安定化を図り、そこで働く職員への待遇改善に繋がっていると考えます。

議員 村政運営の上で、国、県補助金の活用が有効であるが次の質問をします。①



新垣 修 議員

野湾市、西原町、北中城村)の閉館時間を参考にすると最小で75分、最大で2時間、開票作業が長引いて終了しています。日をまたいで開票事務となると立会人もそうですが、多くは職員の併任で翌日の業務、本来の住民サービスにも支障をきたすのではないかとの思いがある。その点で全てに携わっている村長は意見など言つた事や、求めた事はありますか。

野湾市、西原町、北中城村)なる不名誉な記事が掲載されました。25年度にも投票率アップに向けて的一般質問があり、行政として投票率アップの支援を図ると方策を述べていますが、今回の選挙ではどのような方策支援を図ったのか、同様に選挙管理委員会の取り組みでどのような啓発活動を実施したのか。

活動を実施しました。

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

高齢者福祉

議員 県補助金事業などを進める上で、村出身の新垣光栄県議とはどのような連携がで

議員 選挙において開票は候補者並びに支援者及び地元の出向研修はどうか。

議員 開票事務作業と今後の取り組み

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

活動を実施しました。

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

県政との繋がり

議員 県政運営の上で、国、県補助金の活用が有効であるが次の質問をします。①

議員 選挙において開票は候補者並びに支援者及び地元の出向研修はどうか。

議員 開票事務作業と今後の取り組み

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

活動を実施しました。

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

議員 開票事務作業と今後の取り組み

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

議員 開票事務は、投票する立候補者が多い選挙や投票回数の多い選挙など開票時間は長くなる傾向にあります。また、玉城デニー県知事とも旧知の間柄です。今回の村議選挙も委員会としては、想定の範囲であります。投票事務の改善に関しては、諸方法あるが予算が係るため今後の検討課題とした

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

活動を実施しました。

中城村議会だより 2018年12月20日 第57号 (8)

活動の具具体的取り組みは、
組織となる村観光協会の再
設立上程時期は、
3月議会において、
議会の承認が得られませんでした。
した。その反省も踏まえ
て、議会での説明をしつかり果たし、来年の3月議会
までには議案上程をさせて
いただき、2019年度に
向けて本村の観光の中核となる観光協会設立を目指していきたい。

活用はどのようになっているか。
「観光振興計画」での事業
取り組みとしては中心的に動けるよう、村内の魅力おこしの活動をしているところです。今後とり行うイベ

クルーズ船の受け入れ体制
の指揮を中部広域市町村圏事務組合が担い、船客の誘導を行っているところです。
城村までの加盟店市町村をサクルーズとの連携をとつて、周遊バスでうるま市から中城村までの加盟店市町村をサクルーズとの連携を行っています。周遊バスの船客は少なく、船会社が募集するツアーパスが大多数を占めているのが現状です。

障がい者雇用
議員 地域おこし協力隊の活用はどのようになっているか。
企業立地・観光推進課長
「観光振興計画」での事業取り組みとしては中心的に動けるよう、村内の魅力おこしの活動をしているところです。今後とり行うイベ

常勤職員、嘱託職員に障がいをもつ職員は雇用率の算定の対象になるか。
総務課長 臨時職員と一般職非常勤職員は雇用期間が1年未満になっており、対象になりませんが、嘱託職員は複数年雇用の場合は対象になります。

村道新垣中央線の整備を急ぐ
議員 新垣区とサンヒルズタウン区を結ぶ新垣中央線について、未整備の状況があります。水たまりも数か所あり、所どころ地肌がむき出しの状況であります。車体がこすれるほどの段差ができる早急な整備が必要ではないか。

自治会活動助成制度の拡充を
議員 村の発展は各自治会の活性化からと考えております。自治会活動補助事業の根本的・基本的な考え方は。
総務課長 行政としても地域力の低下、地域コミュニティの崩壊を恐れている。自治会活動、自治会の発展については一生懸命取り組み金もそういう趣旨から創設している。自治会活動活性化補助金もそういった趣旨から創設している。



伊佐 則勝 議員

ント等で、どのような施策を打ち出し、リピーターの多い観光資源へ生かせるか進めています。

企業立地・観光推進課長
中城湾港のクルーズ船受け入れ体制や観光誘客活動の具体的取り組みは、

クルーズ船の受け入れ体制の指揮を中部広域市町村圏事務組合が担い、船客の誘導を行っているところです。
城村までの加盟店市町村をサクルーズとの連携を行っています。周遊バスの船客は少なく、船会社が募集するツアーパスが大多数を占めているのが現状です。

障がい者雇用
議員 障がい者雇用促進法の改正がありました。本村の障がい者雇用率について伺います。

総務課長 平成30年4月1日付けて、法律の一部改正により国及び地方公共団体等においては、雇用率が2.5%以上へ改正されていました。平成30年6月1日現在の雇用率は2.91%です。

常勤職員、嘱託職員に障がいをもつ職員は雇用率の算定の対象になるか。

総務課長 臨時職員と一般職非常勤職員は雇用期間が1年未満になっており、対象になりませんが、嘱託職員は複数年雇用の場合は対象になります。

村道新垣中央線の整備を急ぐ
議員 新垣区とサンヒルズタウン区を結ぶ新垣中央線について、未整備の状況があります。水たまりも数か所あり、所どころ地肌がむき出しの状況であります。車体がこすれるほどの段差ができる早急な整備が必要ではないか。

自治会活動助成制度の拡充を
議員 村の発展は各自治会の活性化からと考えております。自治会活動補助事業の根本的・基本的な考え方は。
総務課長 行政としても地域力の低下、地域コミュニティの崩壊を恐れている。自治会活動、自治会の発展については一生懸命取り組み金もそういった趣旨から創設している。自治会活動活性化補助金もそういった趣旨から創設している。



安里 清市 議員

の活性化からと考えております。自治会活動補助事業の根本的・基本的な考え方は。

村長 行政としても地域力の低下、地域コミュニティの崩壊を恐れている。自治会活動、自治会の発展については一生懸命取り組み金もそういった趣旨から創設している。

LNG貯蔵施設の破損から発生する危機的な状況を、想定して中城村地域防災計画にも記載すべきである。



桃原 清 議員

橋 梁 の 維 持 管 理

議員

北上原の村道愛知線の普天間川に架かる橋の構造や安全性等について、調査をした事があるか伺います。

都市建設課長

平成24年度に村内の橋梁を、橋梁長寿命化修繕計画で遠望目視を含めた点検を実施しました。その後、平成28、29年度に、村内44橋について新たに法定点検を実施しました。その中で、当該橋梁ほか3橋の修繕が必要との結果が出ました。その4橋については、年次的に改修設計、詳細設計を入れて改修していくスケジュールであります。

議員

この橋がいつ頃作られて、改修工事をした事があるかどうかを伺います。

都市建設課長

いつ頃設置されたかという事につきましては、今資料を持っていませんのでお答えできませ

んが、簡単な維持補修といふことでやった経緯はあると思います。今度の点検で補修すれば今後持つという事であります。補修時期については平成33年度を予定しております。

この橋はガードレールも設置できない状態で、転落防止柵を設置しただけであり、又橋のたもとを横から見た場合、縦にひび割れの線も入っています。交通量も大変多く、2tダンプや4tダンプも通るところで大変危険です。早急に交通量調査、状況の調査をやっていただきながら返答お願いします。

都市建設課長

道路維持補修は年間2,000～3,000万円の予算で村内全体を平等に優先順位をつけ行っています。現場の状況を見て、アスファルト舗装だけで済むか、又路盤材を入れ替えて、基礎の部分も入れ替えをするか、状況に応じて、担当と業者が判断して維持補修を行っています。

議員

交通量調査等、これから詳細設計にはありますが、その時点で該当するかどうか確認して、できる所であればやつていきたいと思います。最近、県の補助金も大変厳しく、こちらが要望した満額が、ほとんどの市町村ついていませんので、その辺も県と相談しながら優先順位が先になるよう検討していくたいと思います。

都市建設課長

高速道路側道の管理はどこか、早急な側溝の蓋の設置が可能か伺います。

議員

この橋がいつ頃作られて、改修工事をした事があるかどうかを伺います。

議員

いつ頃設置されたかという事につきましては、今資料を持っていませんのでお答えできませ

状況が悪い。道路の修繕、予算、施工状況について伺います。

村長

北上原と新垣の道路に関しては村内においても整備が遅れているのは認識しているつもりです。補助事業があれば、当然積極的に優先順位をしっかりと上地区の道路関係に充てられる様な形で、指示をしていきます。

國道329号の下 地 区 の 避 難 経 路 は

議員

台風24号、25号と被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。不眠不休で復旧工事をしていただい

た関係者に感謝申し上げます。このように災害は突然やってきます。「備えあれば憂いなし」災害対策は必

要不可欠で国道329号の下地区に確保されている避難経路、避難場所の制定は?

総務課長

最短の道が通りるよう都市建設課と相談して検討していきます。

生 き が い づ く り

議員

人生の先輩、中城村老人会の活発な会活動にぜひ支援の検討をしていただきたい。

老人福祉センターは毎日50名以上の会員が使

用して健康づくり、生きがいづくりが図られ稼働率も

高く、先輩方みんなの憩いの場となっています。老朽

化している建物、狭い範囲での駐車場の入れ替え等、

職員による多くの応援体制をとつて頂きながらお互いに相手を思いやり、感謝しながら会活動が行われている。

総務課長

避難所は災害対策基本法、本村の地域防災計画で定めています。

議員

泊地区に避難できない場所が避難所として指定されています。あと残り10mだけ通れず避難所として利用できません。整備できま

せんか?

都市建設課長

自治会長と相談しながら伐採とか検討する。

福利課長

活発な会活動に全国に非常に誇らしい

団体として認識しております。サークルもカラオケの

前回の避難訓練の時も、一番近い避難経路を使いせず、わざわざ別の遠い道を通って訓練している。せっかく300mで避難できる近道は通れない現状で、住民にそれだけの不便負担をかけている現状である。早めの対応をお願いします。

地域力の低下、コミュニケーションの崩壊。我々行政にとっては一番あってはならないこと。今後、活性化した地域づくりが活性化の鍵だと考えます。

村長

屋良 照枝 議員





安里 ヨシ子 議員

農道の整備

議員 伊倉堂団地から海まで通称ウンジャガーラにそつて農道が走っています。釣りに行く人、散歩等利用者の多い道、地域からの要望もあり早めの舗装をお願いします。農道に沿つた川は、満潮の時は怖い状態です。自転車ごと川に落ちた人もいて、ぜひ、防護柵を設置してほしい。

議員 プラスチックごみの汚染が世界中で問題になっています。レジ袋、発砲スチロール等地球規模で深刻な影響を及ぼしています。生物や生態系に危機感を持つて使い捨てごみの対策にあたらないと将来世界中の海が汚染されてしまいます。中城の海も同様に汚染が進んでいるといわれています。どのような対策をお考えですか。

都市建設課長 中城村景観計画を作成しています。斜面緑地を背景とした海からの展望や大地からの中城村を見下ろす眺望に配慮する。中城城跡周辺地区において景観に影響を与える大規模建物、工作物等、事前に届けを必要としている。

二地区に入っています。今後、第三、第四地区と順次舗装を行う計画、ウンジャの農道は第四地区にあたり平成35年～38年にかけて整備してまいります。応急処置で対応を考えています。

村は、うしろに世界遺産中城跡を控え、そして前には中城湾と美しい景観に恵まれている。この地形のすばらしさと歴史文化を次世代に引き継ぐ責務が私達大にあると思います。この美しい景観を守っていくための計画がありますか。



渡嘉敷 真整 議員

登又中城城跡線

議員 平成30年3月に完成されたであろう道路工事の状況と現在通行止めになつておりますが何故か。地域への説明はしたのか?何故完成から半年も放置するのか?説明を求めます。

都市建設課長 登又公民館付近から村道ウフクビリ線を交差する箇所までの新設区間だと思います。新たな交差点となることから、沖縄県公安委員会と交差点協議を行っています。協議に時間をしてしまい、開通を待ち望んでいた地域の方々を待たせてしまう結果になりました。地域への説明は行っていません。村は交差点部の注意喚起の表示等を行い、また公安委員会は一時停止の標識設置を実施します。公安委員会の標識設置後の開通になります。

て、一時停止の標識設置後に開通させるという話で開通はいつになりますか。
都市建設課長 村がやる道路標識は10月16日に完了しております。公安委員会が設置する標識は確認したところ、予算の関係上今年中にいうことです。

安全・安心・住みよい地域づくり

議員 大瀬線・ウフクビリ線とも道路がよくなつたために運転手の皆さん非常にスピードを出すんです。急勾配の下り坂でスピードになって大きな交通事故が心配されます。40キロの速度規制を表示して守るような体制を是非お願いします。

住民生活課長 ウフクビリ線は六基、速度規制40キロということで表示されていますので、同様に大瀬線のほうにも要望していきます。

の橋脚が死角となり、見通しが悪く交通事故が多発していることで登又自治会の要望もあり、数回にわたって宜野湾警察署に信号機の設置を要請してきておりましたが、すぐには設置できなこととで南仲1号線側に一時停止標識等を設置して対策を講じてきています。今後も信号機設置の要請を継続していきます。

農林水産課長 排水路の防護柵について当間地区県営圃場整備事業、土地改良事業計画設計基準に基づいた施行だったため、ガードレールの設置が出来なかつたと考え、転落防止柵の設置について単費でできるか検討してまいります。農道について昭和58年から平成11年にかけて当間地区を県営圃場整備事業促進事業として、当間地区を四地区に分け、第一地区は完成、第二

議員 観光立県として中城

市建設課長 中城村景観計画を作成しています。斜面緑地を背景とした海からの展望や大地からの中城村を見下ろす眺望に配慮する。中城城跡周辺地区において景観に影響を与える大規模建物、工作物等、事前に届けを必要としている。

議員 ①登又大瀬線、ウフクビリ線の交通安全標識設置状況及びこれまでの努力状況等の経緯 ②今後の取り組み等を伺います。

住民生活課長 村道大瀬線は南伸1号線との交差点(原建設工業前)に、一時停止標識の設置、村道ウフクビリ線には速度規制標識の設置がされています。

議員 その他、中城村中央公民館、中城小、津覇小学校の音楽教育、中城南小学校今後の教室等増設工事について質問がありま

議員 「議会だより第56号」6月定例議会の一般質問の中で議員の氏名に誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

(誤) 新垣ヨシ子議員
(正) 安里ヨシ子議員

お詫びと訂正



議員 公安委員会と協議し明は行っていません。村は交差点部の注意喚起の表示等を行い、また公安委員会は一時停止の標識設置を実施します。公安委員会の標識設置後の開通になります。

て、一時停止の標識設置後に開通させるという話で開通はいつになりますか。
都市建設課長 村がやる道路標識は10月16日に完了してあります。公安委員会が設置する標識は確認したところ、予算の関係上今年中にいうことです。

の橋脚が死角となり、見通しが悪く交通事故が多発していることで登又自治会の要望もあり、数回にわたって宜野湾警察署に信号機の設置を要請してきておりましたが、すぐには設置できなこととで南仲1号線側に一時停止標識等を設置して対策を講じてきています。今後も信号機設置の要請を継続していきます。

議員 大瀬線・ウフクビリ線とも道路がよくなつたために運転手の皆さん非常にスピードを出すんです。急勾配の下り坂でスピードになつて大きな交通事故が心配されます。40キロの速度規制を表示して守るような体制を是非お願いします。

住民生活課長 ウフクビリ線は六基、速度規制40キロということで表示されていますので、同様に大瀬線のほうにも要望していきます。

議員 その他、中城村中央公民館、中城小、津覇小学校の音楽教育、中城南小学校今後の教室等増設工事について質問がありま

たみ問題に関心をもつて頂くため、村一帯の清掃活動を定期的に取り組むことが必要。啓発看板等の設置で海岸利用者などに環境美化に努め海洋汚染の防止に繋げ

る。



新垣 善功 議員

職員の不祥事再発防止策

議員 前回の答弁では、6月中に策定するとのことであります。臨時職員を含め全員に配布しております。

議員については、正確なことはわかりませんが、公務員としての自覚の欠如等が原因と考えています。後、続けていくかも含めて改善していくべきだらうと思つてあります。

総務課長 これは、「ひとり親の就業支援に関する特別措置法」の施行により底していく実施計画がないとして、「職員再発防止行動計画」なるものを策定していますが、職員に周知徹底しておられます。「法の下の平等」や「職業選択の自由」との整合性については、反しておらないものと考えております。

教育総務課長 外部コーチの派遣に関する費用は、今年度より中学校体育連盟及び文化連盟についての補助が、村予算で回数の制限もなく補助できるようになりますが、外部コーチについてはPTAの派遣に関する徴収金があります部分と、保護者等で活動をして対応していただいています。現在登録メンバー等の航空運賃と宿泊費用のみの補助金となっています。現地での交通費等についてはまだ含まれていません。

農林水産課長 島ニンジンの販路拡大をしながら販売しております。島大根、島トウガラシ、島ネギとその島野菜を今後取り組む考えです。今、中城中学校のキャリア教育で2年生に中城の野菜を使った特産品の開発と、特産品を使つた商品を作つてもらつています。島ニンジン、トウガラシ、マンゴー、トマトとその他の農産物の開発も進んでいます。

特産品開発と販路拡大の考え方。6次産業化で特産品作りと販路拡大を考えているのか。

取り組めないか。

思っています。

特産品開発と販路拡大

教育総務課長 保護者の負担を軽減するためにPTAの徴収金については派遣費補助ということで徴収していますが、その部分も含めて全体的に考えていいかと思います。

議員 新たな品種の農産物の考えは。6次産業化で特産品作りと販路拡大をどう考えているのか。

議員 新たな品種の農産物の考えは。6次産業化で特産品作りと販路拡大をどう考えているのか。

議会議員選挙の投票率向上

議員 議会議員選挙の投票率は年々低落傾向にあるが、投票率を上げていくための施策について伺います。

選挙管理委員長 有権者に対する啓蒙活動の実施、選挙公報の活用を通じて、選挙への意識を高めていくことが重要と考えています。

議員 そういうことも重要なことだと思いますが、期日前投票所の増設、例えば、買物がてら投票できる様な場所に投票所を設けることはできないか。サンエー南上原店の敷地内に、予算も伴いますので村長の考えを伺います。

議員 ひとり親世帯の親が就業しやすい施策を講じるようにという法律と理解しており、身体障がい者雇用促進法とは意味が違うと思いません。ひとり親世帯の多い中で一人一人の親を支援するよりも、多くのひとり親が働きやすい社会環境づくりをするべきであり、採用の特別枠を設けるべきでないのではないか、早急に計画を立てるべきであることを指摘します。

議員 楽器の運搬費とか現地での交通費は、補助費として補つべきと思うが教育長の考えはどうですか。

教育長 私としても、保護者の負担を少なくしたいと、同じ思いであります。今年度から中体連、文化連盟についての派遣費を改善しました。保護者の負担を減らすために宿泊費、航空運賃は登録メンバーの全額を教育委員会で持つと改善してあります。できるかぎり保護者の負担を少なくする方向で考えていただきたいと

※ 他に、庁舎建設の検査関係、吉の浦公園整備計画、南上原地区への公的施設建設の質問がありました。

村長 投票しやすい様にすることが投票率アップに繋がるのであれば、真剣に考えていくべきものと思っております。

議員 今年から職員採用試験で、ひとり親世帯応援枠を設けているが、その理由及び憲法第14条の「法の下の平等」との整合性、また、住所要件も憲法第22条の「職業選択の自由」との

中城村職員採用

議員 ひとり親世帯の親が就業しやすい施策を講じるよう、法律と理解しており、身体障がい者雇用促進法とは意味が違うと思いません。ひとり親世帯の多い中で一人一人の親を支援するよりも、多くのひとり親が働きやすい社会環境づくりをするべきであり、採用の特別枠を設けるべきでないのではないか、早急に計画を立てるべきであることを指摘します。

議員 ひとり親世帯の親が働きやすい社会環境づくりをするべきであり、採用の特別枠を設けるべきでないのではないか、早急に計画を立てるべきであることを指摘します。

議員 楽器の運搬費とか現地での交通費は、補助費として補つべきと思うが教育長の考えはどうですか。

教育長 私としても、保護者の負担を少なくしたいと、同じ思いであります。今年度から中体連、文化連盟についての派遣費を改善しました。保護者の負担を減らすために宿泊費、航空運賃は登録メンバーの全額を教育委員会で持つと改善してあります。できるかぎり保護者の負担を少なくする方向で考えていただきたいと



外間 博則 議員

村道、農道整備

議員 村道津霸2号線の津霸135の2番地に位置します生活道路の整備について伺います。

都市建設課長 当該箇所は、国道から集落へ降りる際、急勾配になつております。その件につきましては数年前にも相談があつたようあります。対応を検討した結果、勾配を緩くするためには、道路の高さを上げなければならなくなります。

都市建設課長 現場を確認しました。現在凸凹で、通行に支障はあるかと感じています。今維持管理の予算の範囲内で、維持補修費で補修できるか検討していきます。また、地域の皆さんがよく利用している道路と聞いていますので、その辺は検討していきたいと思います。また、議員がおっしゃるとおり入口部分も同じよう維持補修でなるべく頑丈にできるように検討しています。

議員 国道からの進入、字内から国道へぬける際、急勾配であり国道側には舗道があり、通行する方も多いことから危ない状況にある為、緩やかにする整備が必要であると考えますが。

都市建設課長 私たち職員で確認し、ブロック塀が持つかどうか、補償など結構経費かかる予定であります。

すでに、その辺はいろいろと地主さんと相談していきたいと思います。

道側から5メートルほどの長さで25センチの管が入っており、国道へ向けクランクになっています。管が小さくなっています。管が小さいと思いますが、交換することはできないのか。

都市建設課長 現場のほうを確認してみますけれども、この部分だけ大きくなり、また下のほうが大きくなないと一緒になりますので、その辺も検討させてもらいたいと思います。



新垣 貞則 議員

老人福祉センター建設

議員 役場建設も進む中で、役場庁舎が移転したら現在の役場庁舎跡地に補助金が得られたら中城中学校のプール建設と老人福祉センターの併用も考えていましたか。

村長 今、議員がおっしゃるような形のものもござりますし、選択肢が幾つかあります。また選択できないときもありますので、補助金との絡み、必要性、タイミング、いろいろなものがあります。また選択肢がないときもありますので、補助金との絡み、必要性、タイミング、いろいろなものがあります。また選択肢として可能性はあるということです。

議員 賀武道線はコーナー3カ所は滑り止めをやられています。片方は滑り止めはやられてない状況で雨降りのときはスリップをして、交通事故の危険性があります。その対策は。

都市建設課長 賀武道線のスリップ防止対策は、ゼブラ方式でいくか、全面滑り止めいくか、維持管理の予算の範囲内でできるのか、検討をしていきたいと思います。

議員 次に、35番地下の里道の整備について伺いますが、この件については4年前にアスファルト、側溝整備をしていただいた場所であります。現在はアスファルトもがれ、凸凹部分があります。現状は軽い工事で済むと思います。整備について伺います。

都市建設課長 現場を確認しました。現在凸凹で、通行に支障はあるかと感じています。今維持管理の予算の範囲内で、維持補修費で補修できるか検討していきます。また、地域の皆さん

がよく利用している道路と聞いていますので、その辺は検討していきたいと思います。また、議員がおっしゃ

るとおり入口部分も同じよう維持補修でなるべく頑丈にできるように検討していきます。

議員 今後、久場前浜原線の取組は。

都市建設課長 久場前浜原線の完成は、地域の地権者の利便性及び、地域活性化に大きく寄与するものと考

議員 津霸小学校裏の避難道側溝の整備

議員 津霸小学校裏の避難道に側溝があります。その側溝は学校裏から国道へ向けて流れていますが、避難

柱の撤去作業を始め支柱が錆びている所は、今回で全て撤去し、簡易ネットを上に、レールを通してカーテン式のネットをやっています。今回策定した整備計画では、平成40年度から4年計画で整備する予定です。しかしながら、緊急性とか含め、観覧席やそいつたところも含め、次年度からテニスコートの整備に取り掛かり実施計画や予算要求の中で財政当局を含め検討してまいりたいと思っています。



久場地区の住みたい町づくりを図る

議員 今後、久場前浜原線の取組は。

都市建設課長 久場前浜原線の完成は、地域の地権者の利便性及び、地域活性化に大きく寄与するものと考

えています。早急に残る用地の契約・買収を実施し、道路整備を進め、開通できるように取り組んでいきます。



生涯学習課長 フェンス支柱の撤去作業を始め支柱が錆びている所は、今回で全て撤去し、簡易ネットを上に、レールを通してカーテン式のネットをやっています。

議会基本条例調査特別委員会報告

議会基本条例を制定するにあたり、調査検討終了時に議会へ本基本条例を議案として提案することを念頭に置き、前文及び全ての条文について、現状認識と条例運用に伴う課題について意見交換や審議を行い、「中城村議会基本条例」を策定した。

議員定数・報酬等調査特別委員会報告

議員定数については、平成18年9月28日の改選より定数が20人から16人へ削減となり、現在まで定数については現状維持の状況である。前回（4年前）の中城村議会議員選挙が無投票だったことを受け、この議員定数が適正であるかを本委員会で調査した。

議会の機能の発揮のためには、議員間における討議が重要であり、そのことを行う各常任委員会においては、ある程度の人数が必要である。安易な削減を行った場合においては、委員会人数のバランスが崩れるため、大幅な議員数の減となり、議員間討議は機能しなくなる。

定数削減は経費の削減にはなるが、政策提言機能や執行機関に対する監視機能を強化する上において、現有議席の維持が必要である。結果議会としての役割を十分に果たすことができ住民のプラスに繋がる。

地方分権が推進され地方団体の行政能力が充実強化されていく中、執行機関の権限が強化されるので、それをチェックする議決機関（議会）も強化しなければ均衡がとれなくなる。

近隣12町村の議員定数については、14人（3団体）、16人（6団体）、19人（3団体）、平均すると

16人、現在の中城村の議員定数は16人である。定数削減前当時の人口は16,297人（平成18年9月末）、現在の人口は21,084人（平成30年7月末）と人口増加し続いている中城村においては、住民からの支持を得ることはできない。

このことから議員報酬については、安定的な議員活動を維持するため、及び削減当時の中城村の当初予算総額約95億円（平成18年度）から現在の当初予算総額約120億円（平成30年度）となり、景気が回復してきたことに伴い、以前の報酬額が適正な額として平成18年に削減した報酬額へ改正することが必要である。

議員の兼業もある程度認められており、兼業をする場合においては、平日の昼間に議会が行われるため、仕事の両立が難しい面がある。企業の経営者や自営業などであれば、議員として活動ができる人もいるかもしれないが、むしろ議員になることが期待される若い世代にとっては、仕事と議員の活動を両立させることは難しいと推測される。

議員に対して専門的知識の向上力が求められてくる現実的視点があり、議員が適切、かつ専門的に処理しなければならない問題が多く、それをチェックする議決機関（議会）も強化しなければ均衡がとれなくなる。

このことから議員報酬については、安定的な議員活動を維持するため、及び削減当時の中城村の当初予算総額約95億円（平成18年度）から現在の当初予算総額約120億円（平成30年度）となり、景気が回復してきたことに伴い、以前の報酬額が適正な額として平成18年に削減した報酬額へ改正することが必要である。

現在の中城村においては、人口規模では近隣12町村において12団体中6番目と中間の位置であり現在も人口は増加傾向にあるが、報酬は11番目と最下位に近い位置である。この報酬を平成18年に削減した報酬額へ改正した場合は、12団体中7番目となる。

これまで、職員においては人事院勧告により景気回復に伴い、平成25年頃から給料も増額改定しているが、特別職などの報酬においては、これまで（12年間）全く改正されることなく、据え置かれて来たことを踏まえ、報酬額を減額前へ戻すことが必要である。



議員報酬と定数を考える

とき：平成30年10月12日（金）

ところ：チャタニライセンター

町村議会議員・事務局職員研修会

沖縄県町村議会議長会主催の研修会は、約400名の参加者のもと開催されました。去る9月の統一地方選挙から間もないこともあり、会場は参加者の熱気があふれました。

村民の皆様にも、講演の一部を紹介し、中城村の議会議員の定数や報酬について、共に考える契機となることを希望いたします。

研修会では、「調査なくして発言なし」との与那原町議会議長の開会挨拶で始まり、2部構成で開催されました。

はじめに「住民自治を進める議会の条件整備：議員報酬：定数」の演題では講師に江藤俊昭・山梨学院大学法学科教授・大学院研究科長の講演がありました。

「行政改革は効率の問題であるが、議会改革は議員が働きやすい条件整備を現在から将来に向けて実施し、もって地域民主主義の原点にあるものを実現するものであること」また、「議員の働きやすい条件を考えるのは、議員の魅力を高めることにはなるが、本質は現在の議員のためではなく、参加のハードルを下げて住民が立候補しやすい環境を整えること・政治に関心を持たせることに意義がある」こと。また議会には条例の制定・改廃、予算決算の承認、議案の議決など驚くべき権限が与えられており、議員として議決責任があり、可決否決の説明責任がある事を自覚する事が議会改革の起点であることが述べられました。

べられました。

議員定数を決定するうえで①住民数から委員会数を割り出し、討議ができる議員数を算定する案 ②初めに委員会数を算定し、委員会討議に必要な議員数を算定する案 ③住民と考えて算定する案などが示されました。

議員報酬を考える上では、①原価方式②比較方式（類似団体比較）③収益方式（成果重視）などが紹介されましたが、いずれも住民と議論しながら水準を決める必要があるとの考えが示されました。また、首長（村長）給与と連動させるにはその根拠の説明が必要との認識が示されました。

定数や報酬の検討には、住民の数や予算の規模・社会情勢など種々の要素を組み合わせる必要があります。平成の大合併以来全国の市町村議員の数は69,028人（1987年）から32,715人（2017年）となりました。議員定数の削減や議員報酬の切り下げが政治への関心低下を招く一因とも言われています。地域民主主義を実現するには真剣な検討が必要だと感じました。

議会だよりを発行している議会では住民からモニターを募り、意見を求めるのも議会に関心を持たせる良い取り組みとの紹介がありました。

休憩をはさみ第2部では議員の公務災害と全国町村議会議員団体保障制度について、講師に全国町村議会議員互助会事務局長の廣瀬始氏に講演をいただきました。



常任委員会の役割と運営について

とき：平成30年11月6日（火）

ところ：自治会館 2Fホール

常任委員長・副委員長研修会

講師：沖縄県町村議会事務局長 石垣 安秀氏

委員会の種類には常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があり、常任委員会は議会の意思決定前に分担を決めて詳細な検討を加え、委員会の意思を決定して本会議に報告する。

本会議では、その報告を参考資料として、案件に対する最終意思を決定する。委員会審査は、以下の様な手順で行われる。

法律は、常任委員会の権限を「所管する部門の事務の調査と議案や陳情等の審査を行う」と規定している。この調査が所管事務調査である。調査は單に現状確認だけではなく、問題点を把握し分析検討して、その改善改革、対応策を見いださなければならない。政策を究明する役割がある。

審査が付託による受け身の活動であるのに比べ、調査は常任委員会の自主的な独自活動である。したがって常任委員会の本来の使命は、審査ではなく調査活動（所管事務調査）である。



比嘉明典氏 秋の叙勲

勳 章 旭日双光章（内閣総理大臣より11/3付で授与）
 授賞者 比嘉明典（伊舍堂出身）
 功 績 村議員として、通算8期32年、うち議長7年9ヶ月、副議長2年4ヶ月

沖縄県町村議会議長会 議会広報研修会

平成30年11月8日
パシフィックホテル沖縄



講演「誰のため、何のための議会広報か！」

誰の為、何のため
住民目線での広報作成

広報誌の作成、発刊にあたり紙面が与える重要性、読み手側に添った情報誌としての具体的な視線での講演内容を展開した。

広報誌は、税金で作られ、住民は「議会だより」を選べない。発行の重要性に議員団の活動姿勢等があるが、自己満足の記載記事より、読み手の満足度優先などの作成ポイントをあげ、また、近未来の有権者に向けた広報誌作成の着眼点など細部に渡り解説した。

サブタイトル「議員力アップにつながる作成ポイント」という内容で議会情報誌としての有意義性や、現状診断などヒヤリング形式で実践発表を行つてきました。

本村の慣例として新人議員は、「議会だより編集委員」としての役務に着く。越地真一郎講師を招いて、委員長、事務局ともに講演研修会に参加してきました。

編集後記

村民の皆様、今回の議会だよりはいかがでしたでしょうか。9月の選挙で誕生した私たち5名の新人議員と大城委員長で作成させてもらいました。

一般質問の目次の設置や質疑応答がわかりやすくかつ読みやすいように字数の制限や見出しにアクセントをつけたなど努力したつもりですが、つくづく紙面作りのむつかしさを感じた今回誌面作りでした。議員定数と議員報酬の話題や、議会基本条例のことなど編集では力を入れたところでしたが、村民の皆様に熱意が届きましたでしたか。

年明けの2月には、議会報告会を計画しております。議会の様子や議員の活動がよりわかりやすいように、報告の場を設けて村民の皆様に政治に対する関心を高めていただくのが狙いです。編集委員も出来立てのはやほやは一緒に中城村の未来を熱く語ります。



議会だより編集委員

題字提供

中城中学校の生徒会長として残りの学校生活を過ごしていきたいです。
與座怜真

ありがとうございました。

題字募集！

「ぎかいだより」

の題字の募集をします

中城村の児童・生徒のみなさん、上手も下手も関係ありません！あなたの字のままでいいんです。

お問い合わせは 中城村議会事務局（☎098-895-4318）まで